

## 2020 年度新入生ガイダンス 神田学長講話

皆さん、ご入学おめでとうございます。教職員を代表し心からお祝い申し上げます。

新型コロナウイルスは現在、非常に猛威を振るっている状況です。その中で、私達はどのように振る舞っていけばよいでしょうか。私は大切なのは「知識」であり「理性」だと考えています。必要以上に恐れる必要はないですし、必要以上にあるいは漠然と「自分は大丈夫」と思って自由に振る舞うのも望ましくありません。状況は刻一刻と変化し、山形県内でも感染者が増えています。そういった状況の中でも、皆さんの学びの機会を奪うことがないよう、皆さんのことを最優先に考えながら取り組んでまいりたいと思っています。

さて、今まで経験したことのない難しい状況の中で、私たちは何を学び、どのように行動していけばよいでしょうか。今回の状況は現在進行形であり、まだここから学ぶことは難しいかもしれませんが、ぜひ落ち着いて考えて、今回どのような問題があり、今後どうしていけばいいかという視点で考えてほしいと思います。

本学での学びと照らし合わせた場合に、皆さんに考えてほしいこと・学んでほしいことが3点あります。

一つは「公益」です。今回の新型コロナウイルスの状況では、転売という行為が多く行われマスクが常に入手困難になり、一時的にティッシュペーパーなども入手困難になりました。本来であれば、自分の行動が周囲に及ぼす影響も考えて行動することが求められたわけですが、残念ながら「自分さえ良ければ良い」という行動が散見されました。「『自分さえ良ければ良い』を超えて、この地域や社会、日本そして世界にとって良いことはどんなことか」「社会全体にとって良い振る舞いをするために、我々はどうしたらよいか、どんな仕組みをつくれればよいか」、ぜひ考えていただきたいと思います。「自分さえ良ければよい」という問題を解決するための方法、答えは一つではありませんし、「公益」に関する問題は、新型コロナウイルスだけに限らず、さまざまあります。ぜひアンテナを高くして、多くのことに興味を持っていただきたいと思います。

二点目は「グローバル化の視点」です。新型コロナウイルスの脅威は日本国内だけではなく、世界中に広がっています。我々の目下の課題は「この地域、あるいは日本国内で感染を拡大させないためにはどうするか」かもしれませんが、対応策を考えていくためには、世界に目を向け、世界から学ぶ必要があります。本学には国際教養コースがあり、国内だけでなく、広く世界の経済や文化などのさまざまな問題について学ぶことができることに加え、留学制度も充実しています。ぜひ在学中に留学にチャレンジするなど世界に目を向けていただきたいと思います。

三点目は「IT 技術」です。現在、全国の大学が、オンライン授業などの仕組みの開発にさまざまな工夫を凝らしていますし、本学でもオンライン授業について、できる科目から導入していく予定です。現在は、society5.0 という言葉も聞かれるようになってきており、情報技術を活用し課題解決をする、新しいビジネスを生み出す、そうした社会になっています。情報技術は、現在の困難を乗り越えていく武器になるはずです。本学でも2年次にプログラミングを必修で学びます。プログラミングは必ず将来役に立つことが期待できますので、ぜひ積極的に学んでいただきたいと思います。

これからは、少子高齢化・人口減少、グローバル化やテクノロジーの進展など、時代が大きく変化していきます。先の見えない困難な時代ですが、皆さんには、ぜひ逞しく、そしてしなやかに成長して欲しいと思っています。困難にぶつかってもめげずに乗り越えていく逞しさ、多くの意見を取り入れて柔軟に対応していくしなやかさ、困難な社会においては、いずれも必要な力です。本学は2001年に開学した地域密着型の大学で、大学の中で学ぶだけではなく、地域をフィールドにさまざまな地域課題の解決に取り組んだり、インターンシップに挑戦したり、地域の方々と連携してさまざまな活動ができる大学です。多くの機会を積極的に活用して、皆さんには強く逞しく成長して欲しいと思います。さまざまな人々の話を聴き、議論をして価値観を広げていくことが、柔軟性を高めしなやかに行動できる人材へとつながります。この一年間、大変な状況もあるとは思いますが、ぜひ頑張ってお取り組んでいただきたいと思います。充実した大学生活を送り、大変だったが大きく成長できたと胸を張って言えるようになることを祈念し、私からのエールとさせていただきます。